

## 2017年（平成29年）度第5回常務理事会議事録

日 時：平成29年9月30日（土）13:00～16:00

場 所：東京医科歯科大学MDタワー18階 小会議室

出席者：岡部繁男（理事長）、木山博資、寺田純雄、仲嶋一範、八木沼洋行（以上常務理事）、阪上洋行、松崎利行（以上常任幹事）、片桐 淳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

### I. 会議記録の確認

以下の議事録の確認がおこなわれた。

2017年(平成29年)度第4回常務理事会（平成29年6月3日開催）議事録（案）

### II. 報告事項

#### 1. 庶務報告

##### (1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

平成29年5月分

入会者：正会員 4名、学生 3名

退会者：正会員 2名、学生 1名

平成29年6月分

入会者：正会員 6名、学生 4名

退会者：正会員 5名、学生 1名

平成29年7月分

入会者：正会員 3名、学生 1名

退会者：正会員 5名、学生 1名、名誉会員 2名

平成29年8月分

入会者：正会員 4名、学生 4名

退会者：正会員 2名、学生 2名、代議員 1名

逝去会員 5名

東 昇平 氏（昭和大学・名誉教授／永年会員） 平成28年9月28日逝去（83歳）

西田 隆雄 氏（東京大学・元教授／名誉会員） 平成28年12月19日逝去（87歳）

上山 敬司 氏（和歌山県立医科大学・教授／代議員） 平成29年5月1日逝去（59歳）

木村 邦彦 氏（防衛医科大学・名誉教授／名誉会員） 平成29年7月21日逝去（90歳）

森川 俊一 氏（東京女子医科大学・講師／正会員） 平成29年7月28日逝去（48歳）

新規就任教授

小阪 淳 先生（国際医療福祉大・医・解剖学・教授・平成29年4月1日就任）

森 泰丈 先生（国際医療福祉大・医・解剖学・教授・平成29年4月1日就任）

久保田 義頭 先生（慶應義塾大・医・解剖学・教授・平成29年8月1日就任）

仁田 亮 先生（神戸大・医・生体構造解剖学・教授・平成29年6月1日就任）

長瀬 美樹 先生（杏林大・医・解剖学・教授・平成29年4月1日就任）

富田 江一 先生（徳島大・医・機能解剖学・教授・平成29年7月1日就任）

岡村 裕彦 先生（岡山大・歯・口腔形態学・教授・平成29年4月1日就任）

沢 禎彦 先生（岡山大・歯・口腔機能解剖学・教授・平成29年4月1日就任）

##### (2) 学会宛文書について

資料に基づき、以下の通り学会宛文書が届いたことが報告された。

① 通知・依頼：文部科学省より「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンスの一部改訂について（周知依頼）」他91件

② 書籍・定期通信 他：(独) 日本学術会議より「学術の動向 2017.6」他2件

##### (3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、第15期男女共同参画学協会連絡会 第3回運営委員会（平成29年8月24日開催）の議事内容が報告された。

##### (4) 平成29年度推薦による代議員申請状況について

資料に基づき、推薦による代議員申請状況（10月31日締切）について、現時点で4名の推薦が

あることと、現状では2年ほどで代議員数が定款で定められている下限：300名を下回る可能性があることが報告された。

(5) 支部代議員会報告

資料に基づき、第63回東北・北海道連合支部学術集会 代議員会についての報告があり、とくに、岩手医科大学の佐藤洋一先生より医学教育における解剖学の重要性を訴えてほしいとの発言があったことが紹介された。

(6) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告

資料に基づき、平成29年9月20日に解剖学雑誌（92巻1号）とASI（Vol. 92 No. 4）が発送されたことと、ASI（Vol. 93 No. 1）が12月末の刊行予定であることが報告された。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、認定一級技術者資格試験が9月30日に終了したことが報告された。

(2) 認定二級技術者審査結果について

資料に基づき、認定二級技術者審査の結果1名の合格者があったことが報告された。

(3) 2018（平成30）年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、2018（平成30）年度総会・全国学術集会準備状況の報告があり、プログラム委員会で決定したシンポジウム・ワークショップ一覧が示された。

(4) 2021（平成33）年度総会・全国学術集会担当校について

資料に基づき、2021（平成33）年度総会・全国学術集会開催希望募集が9月末で締切となるが、希望が出ていないことが報告された。

(5) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、①日本医学会役員の選挙結果、②日本医学会連合主催の大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会の開催、③医学会連合の解剖学会からの年会費の支払、④医学会連合研究倫理委員会からの提言「わが国の医学研究者倫理に関する現状分析と信頼回復へ向けて」について報告があった。

(6) 生物科学学会連合報告

生物科学学会連合 第15回定例会議（平成29年4月1日開催）の議事録に基づき説明があった。

(7) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、日本脳科学関連学会連合第8回評議員会（平成29年6月28日開催）の議事内容が報告された。特に、学術会議マスタープラン2017について、日本脳科学関連学会連合からの提案はロードマップに掲載されなかったことが岡部理事長より補足説明された。

(8) 平成29年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況について

資料に基づき、平成29年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況について報告があった。

(9) その他

・マイナビからの問い合わせ対応報告

認定解剖組織技術者へのマイナビの職業紹介記事制作を許可したところ、取材がおこなわれ、記事（案）が届いたことが報告・紹介された。

#### 4. 会計報告

##### (1) 平成29年度中間決算書について

資料に基づき、平成29年度8月次決算報告書(平成29年1月1日～8月31日)の内容が説明された。全国学術集会の収支が確定した他に大きな変動はない。

##### (2) 第122回総会・全国学術集会収支報告

資料に基づき、第122回総会・全国学術集会収支報告書の内容が説明された。学術集会参加者は1220人であった。

##### (3) その他

###### ・公益目的支出計画実施完了について

資料に基づき、内閣総理大臣からの「公益目的支出計画の実施完了の確認書」が届いたことが報告された。

### III. 審議事項

#### 1. 新入会員の承認について

資料に基づき審査した結果、一般会員13名、学生会員13名の新規入会が承認された。

#### 2. 教授就任による代議員審査について

資料に基づき審査した結果、教授就任による代議員の申請者、以下7名について承認された。

小阪 淳 先生(国際医療福祉大・医・解剖学・教授)

森 泰丈 先生(国際医療福祉大・医・解剖学・教授)

久保田 義頭 先生(慶應義塾大・医・解剖学・教授)

仁田 亮 先生(神戸大・医・生体構造解剖学・教授)

長瀬 美樹 先生(杏林大・医・解剖学・教授)

富田 江一 先生(徳島大・医・機能解剖学・教授)

岡村 裕彦 先生(岡山大・歯・口腔形態学・教授)

#### 3. 休会申請について

資料に基づき審査した結果、出産や育児に伴う休会申請の届け出のあった1名の休会が承認された。

#### 4. 利益相反に関する規程の一部改定について

資料に基づき、利益相反に関する規程の一部改定について審議された。日本医学会でCOI管理ガイドラインが改定されたことに基づく改定であり、申告書の文言修正も含めて理事会での審議を経て、2018年3月の社員総会に諮ることとした。

#### 5. 次期役員選挙実施方法について

資料に基づき、次期役員選挙での導入を検討している電子投票について、事務局から電子投票用フォーマットの提案と費用見積についての説明があった。常務理事からは、無記名投票として投票情報を管理することの重要性和集計ミスの防止の重要性が指摘され、その方策についても検討した。

#### 6. ASI出版契約について

資料に基づき、SpringerからのASIの新しい出版条件案の提案について説明があった。主な変更点は、①年間予定頁数の上限廃止、②冊子体のカラー印刷費無料化、③販売利益からの学会への支払金額の増加、④契約期間を6年間に延長、などである。審議した結果、適用する法律を国内法にすることも条件とすること、別刷のカラー印刷費についてSpringerへ問い合わせ確認の後理事会でのメール審議をおこなうこととした。

#### 7. 解剖学雑誌電子化について

資料に基づき、解剖学雑誌電子化について審議した。電子化にあたって解剖学雑誌全巻を揃える必要があり、現在事務局で保管していない20巻以前の巻について、保管していそうな大学に確認してみることにした。

8. Journal of Anatomy and Physiologyよりコラボレーションの申し出について  
資料に基づき、Journal of Anatomy and PhysiologyからASIとのコラボレーションの申し出と、これに対する編集担当理事とASI編集委員長の意見について説明があった。特定のテーマでのコラボレーションは考えられるが、出版形態が大きく異なることからコラボレーションは難しく、申し出はお断りすることとした。
9. 認定技術者制度における制度見直し等について  
資料に基づき、認定技術者制度における制度見直し等について、認定解剖組織技術者資格審査委員会での審議結果が説明された。委員会では①受験料の改定、②未公開分の筆記試験公開、③資格所有者に対する待遇改善について他学会との連携の可能性を検討する、について承認されたが、③については常務理事会で再度検討してほしいとの意見が出された。常務理事会で審議した結果、大学における技術職員の中央配置が進む中で、資格所有者を解剖学関係の教室に確保するための対策はできるのではないかと意見が出され、検討を続けることとした。また、委員会から認定試験の出題基準を設けたいとの提案があり、承認された。
10. 理学療法士養成課程における解剖学教育の在り方に関する検討会について  
資料に基づき、日本理学療法士協会、ならびに日本理学療法士学会からの、理学療法士養成課程における解剖学教育の在り方に関する解剖学会との合同検討会の設置についての依頼文書の説明があった。審議の結果、12月の理事会に日本理学療法士協会、ならびに日本理学療法士学会関係者の出席を依頼し、説明をしてもらうこととした。
11. 情報技術委員会名称変更について  
資料に基づき、情報技術委員会を「アウトリーチ委員会」と名称を変更することについて、情報技術委員長からは常務理事会の方針に賛同であるとの返答があったことが説明された。
12. 日本生理学会との合同大会について  
資料に基づき、日本生理学会との合同大会について、2021年を予定し、参加者が3,100人を超える規模になるので、開催地についてはその規模の参加者を収容可能な施設を持つことを前提とすること、また予算的に可能な会場を探すことが理事長から説明された。生理学会と連絡を取りながら検討を進めることとなった。
13. 日本顕微鏡学会の英文誌Microscopyとの連携について  
資料に基づき、日本顕微鏡学会の英文誌Microscopyとの連携に関し、同誌編集長・副編集長から解剖学会会員およびASI編集委員宛の挨拶・説明文の文案が紹介された。学会間での相互連携を推進することが承認され、その方法については、今後ASI編集委員会と出版社も含めて検討することになった。
14. バイオシグナル創薬共同研究拠点設置に係る要望書について  
資料に基づき、バイオシグナル創薬共同研究拠点設置に係る要望書についての依頼が解剖学会宛にあったことが説明され、審議の結果承認された。
15. 常務理事会・理事会日程の確認  
2017年12月10日（日）東京駅周辺の会議室  
常務理事会：10：30－13：30、理事会：13：30－17：00
16. その他  
特になし。